85464359776002

電気工事担当のかたへ

換気ｍｏぐっぴー

ＨＦＣ系冷媒Ｒ４１０Ａ使用

全熱交換器一体型室内ユニット

室内ユニットには他に「据付工事担当のかたへ」の説明書が添付してあります。
必ず参照してください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

＊据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに〝取扱説明書〟にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また〝据付工事担当のかたへ〟、〝電気工事担当のかたへ〟は、〝取扱説明書〟と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

⚠ 警告

● 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

● 据付工事は、〝据付工事担当のかたへ〟〝電気工事担当のかたへ〟に従って確実に行なってください。
据え付けに不備があると、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災等の原因になります。

● 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および〝据付工事担当のかたへ〟、〝試運転担当のかたへ〟に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

● 小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

● 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行なってください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。

● 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

● 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

● アース工事を行なってください。（電気工事士の資格のある方が行なってください。）
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線等に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

● 漏電しゃ断器を取り付けてください。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

● 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

1. 付属品

電気工事に関係する付属品を表示しています。全体の付属品一覧表は『据付工事担当の方へ』で確認してください。

名　　称	形　　状	個　数	備　　考
① ハトメゴム	φ40穴用	2	室内ユニット電源取入口用

2. 電気配線工事について

ⓐ 配線容量

ご注意
- 電気配線は６００Ｖビニール電線，ＩＶ線を使用基準としてください。（現地手配となります。）
  施工不備があると、感電・火災の原因になることがあります。
- 個別での室内ユニットの配線容量は簡易的にまとめて記入しています。
  詳細は各室内ユニットに付属しています”電気工事担当のかたへ”を参照してください。
- 室外電源わたり配線はできません。

●表Ａ　室内側（個別）ヒーターレス室内ユニット　注5）

項目＼電源区分・形番		単相２００Ｖ			
		８０形	１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		30	30	30	30
ヒューズ容量[Ａ]		15	15	15	15
漏電しゃ断器	容　量[Ａ]	20	20	20	20
	漏れ電流[ｍＡ]	30	30	30	30
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ 注6）	2ｍｍ² (98)	2ｍｍ² (87)	2ｍｍ² (82)	2ｍｍ² (76)
	こう長２５ｍ迄	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²
	５０ｍ迄	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²
	７５ｍ迄	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²
アース線太さ		2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²

●表Ｂ　室外側（個別）：エコミニぐっぴー定速機　注1）注5）

項目＼電源区分・形番		三相２００Ｖ		
		１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		30	30	30
ヒューズ容量[Ａ]		20	30	30
漏電しゃ断器	容　量[Ａ]	30	30	40
	漏れ電流[ｍＡ]	30	30	30
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ 注6）	2ｍｍ² (22)	2ｍｍ² (16)	3.5ｍｍ² (21)
	こう長２５ｍ迄	3.5ｍｍ²	3.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²
	５０ｍ迄	5.5ｍｍ²	8ｍｍ²	8ｍｍ²
	７５ｍ迄	8ｍｍ²	14ｍｍ²	14ｍｍ²
アース線太さ		2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²

●表Ｃ　室外側（個別）：エコミニぐっぴー WORLD STAGE　注1）注5）

項目＼電源区分・形番		室外ユニット（三相２００Ｖ）			蓄熱ユニット（単相２００Ｖ）
		１１２形	１４０形	１６０形	１８０形
スイッチ容量[Ａ]		30	30	30	30
ヒューズ容量[Ａ]		30	30	30	15
漏電しゃ断器	容　量[Ａ]	30	30	30	20
	漏れ電流[ｍＡ]	30	30	30	30
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ 注6）	5.5ｍｍ² (31)	5.5ｍｍ² (28)	5.5ｍｍ² (28)	2ｍｍ² (100)
	こう長２５ｍ迄	5.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²	2ｍｍ²
	５０ｍ迄	14ｍｍ²	14ｍｍ²	14ｍｍ²	2ｍｍ²
	７５ｍ迄	14ｍｍ²	－	－	2ｍｍ²
アース線太さ		2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²

●表Ｄ　室外側（１電源）：エコミニぐっぴー定速機　注1）注5）

項目＼電源区分・形番		三相２００Ｖ		
		１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		30	30	30
ヒューズ容量[Ａ]		20	30	30
漏電しゃ断器	容　量[Ａ]	30	30	40
	漏れ電流[ｍＡ]	30	30	30
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ 注6）	3.5ｍｍ² (35)	3.5ｍｍ² (22)	5.5ｍｍ² (27)
	こう長２５ｍ迄	3.5ｍｍ²	3.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²
	５０ｍ迄	5.5ｍｍ²	8ｍｍ²	14ｍｍ²
	７５ｍ迄	8ｍｍ²	14ｍｍ²	22ｍｍ²
アース線太さ		2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²

●表Ｅ　室外側（１電源）：エコミニぐっぴー WORLD STAGE　注1）注5）

項目＼電源区分・形番		三相２００Ｖ		
		１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		30	30	30
ヒューズ容量[Ａ]		30	30	30
漏電しゃ断器	容　量[Ａ]	30	30	30
	漏れ電流[ｍＡ]	30	30	30
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ 注6）	5.5ｍｍ² (28)	5.5ｍｍ² (25)	5.5ｍｍ² (25)
	こう長２５ｍ迄	5.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²	5.5ｍｍ²
	５０ｍ迄	14ｍ²	14ｍ²	14ｍｍ²
	７５ｍ迄	－	－	－
アース線太さ		2ｍｍ²	2ｍｍ²	2ｍｍ²

注１）室外ユニット同士の電源わたり配線はできません。
　　各室外ユニットごとに配線してください。

●表Ｆ　室外側（個別）：スーパーエスパシオⅡ　　注1）注5）

項目 ＼ 電源区分・形番		三相２００Ｖ				
		１１２形	１４０形	１６０形	２２４形	２８０形
スイッチ容量[Ａ]		３０	３０	３０	６０	１００
ヒューズ容量[Ａ]		２０	３０	３０	５０	７５
漏電しゃ断器	容量［Ａ］	３０	３０	３０	５０	６０
	漏れ電流[ｍＡ]	３０	３０	３０	３０	１００
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ注6）	5.5mm²（31）	5.5mm²（28）	5.5mm²（28）	8mm²（23）	8mm²（20）
	こう長２５ｍ迄	5.5mm²	5.5mm²	5.5mm²	14mm²	14mm²
	５０ｍ迄	14mm²	14mm²	14mm²	22mm²	22mm²
	７５ｍ迄	14mm²	－	－	38mm²	38mm²
アース線太さ		2mm²	2mm²	2mm²	3.5mm²	3.5mm²

●表Ｇ　室外側（個別）：エスパシオ　　注1）注5）

項目 ＼ 電源区分・形番		三相２００Ｖ		
		１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		３０	３０	３０
ヒューズ容量[Ａ]		３０	３０	３０
漏電しゃ断器	容量［Ａ］	３０	３０	３０
	漏れ電流[ｍＡ]	３０	３０	３０
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ注6）	5.5mm²（31）	5.5mm²（28）	5.5mm²（28）
	こう長２５ｍ迄	5.5mm²	5.5mm²	5.5mm²
	５０ｍ迄	14mm²	14mm²	14mm²
	７５ｍ迄	14mm²	－	－
アース線太さ		2mm²	2mm²	2mm²

●表Ｈ　室外側（１電源）：スーパーエスパシオⅡ　　注1）注5）

項目 ＼ 電源区分・形番		三相２００Ｖ				
		１１２形	１４０形	１６０形	２２４形	２８０形
スイッチ容量[Ａ]		３０	３０	３０	６０	１００
ヒューズ容量[Ａ]		３０	３０	３０	５０	７５
漏電しゃ断器	容量［Ａ］	３０	３０	４０	５０	７５
	漏れ電流[ｍＡ]	３０	３０	３０	３０	１００
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ注6）	5.5mm²（28）	5.5mm²（22）	5.5mm²（22）	14mm²（38）	14mm²（30）
	こう長２５ｍ迄	5.5mm²	8mm²	8mm²	14mm²	14mm²
	５０ｍ迄	14mm²	14mm²	14mm²	22mm²	38mm²
	７５ｍ迄	－	－	－	38mm²	38mm²
アース線太さ		2mm²	2mm²	2mm²	3.5mm²	5.5mm²

●表Ｉ　室外側（１電源）：エスパシオ　　注1）注5）

項目 ＼ 電源区分・形番		三相２００Ｖ		
		１１２形	１４０形	１６０形
スイッチ容量[Ａ]		３０	３０	３０
ヒューズ容量[Ａ]		３０	３０	３０
漏電しゃ断器	容量［Ａ］	３０	３０	３０
	漏れ電流[ｍＡ]	３０	３０	３０
	動作時間[ｓｅｃ]	０．１以下	０．１以下	０．１以下
電源配線（金属管、塩ビ管）（電圧降下基準2％）	電線最小太さ注6）	5.5mm²（28）	5.5mm²（22）	5.5mm²（22）
	こう長２５ｍ迄	5.5mm²	8mm²	8mm²
	５０ｍ迄	14mm²	14mm²	14mm²
	７５ｍ迄	－	－	－
アース線太さ		2mm²	2mm²	2mm²

● 表F　室内・外および蓄熱ユニット電源わたり配線の最小電線太さ（ヒーターレス室外ユニットの場合）注2）

室外電源太さ（総合）	2mm2	3．5mm2	5．5mm2	8mm2	14mm2
室内外および蓄熱ユニット電源わたり配線太さ	2mm2	2mm2	2mm2	3．5mm2	5．5mm2

注2）例：室外電源配線の太さが　5．5mm²の時は、室内外電源配線の太さは、2mm²となります。

● 表G　室内側電源わたり配線方式（室内ユニット2台までのヒーターレス機種）　注4）

対象室内ユニットGR記号 注3）		GTRP							
形　番		80形		112形		140形		160形	
接続台数		2台		2台		1台		1台	
わたり配線長		10mまで	15mまで	10mまで	15mまで	10mまで	15mまで	10mまで	15mまで
室内電源幹線 注6）	mm2	2（44）	2（41）	2（38）	2（36）	2（36）	2（33）	2（33）	2（30）
室内電源わたり配線	mm2	2	2	2	2	2	2	2	2
アース線太さ	mm2	2	2	2	2	2	2	2	2

注3）GR記号の対象機種　　GTP：全熱交換器一体型室内ユニット
注4）ヒーターレス機種のみ可能です。　ヒーター付き機種はできません。
注5）室内・室外側に別電源を引き込む場合は、室内は”表A　室内側（個別）”、室外は”表B　室外側（個別）”にしたがってください。
注6）電線最小太さの（　）内数値はその最大こう長（m）を表します。

● 室内外操作線（通信線）太さ
0．5mm²～2mm²（総延長1000mまで）
※室内外操作線は、下記の電線を使用してください。
・VCTF（JIS　C3306）　・VVR　（JIS　C3342）　・CVV　（JIS　C3401）
・VCT　（JIS　C3312）　・MVVSまたは、CPEVS

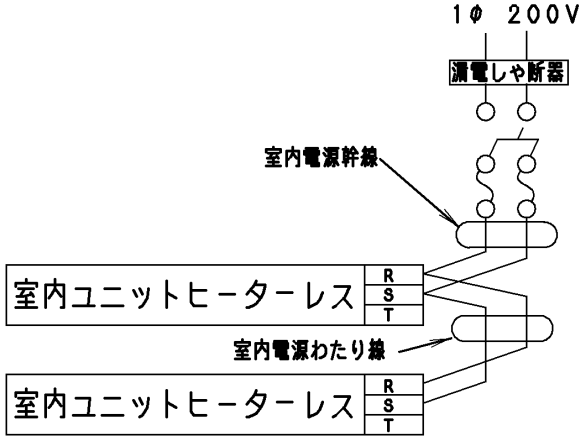
● 室内、外ユニット電源端子板容量

形　　式	端子板容量	端子ねじ	電線最大太さ
GTPの80～160形	50A	M5	14mm2
室外ユニット　の112～160形	50A	M5	14mm2

ⓑ 電気配線

※電気配線工事は右記の電気配線系統図およびユニット貼付の電気回路図を参照してください。
※必ず、リモコン（別売品）をご使用ください。

●室内外操作線、リモコン配線、およびリモコンわたり配線には極性はありません。
●下図の左側の配線図は、室内ユニットがヒーターレス機種の配線例です。
電気配線は600Vビニール配線、IV線を使用基準とします。他の例も同一です。

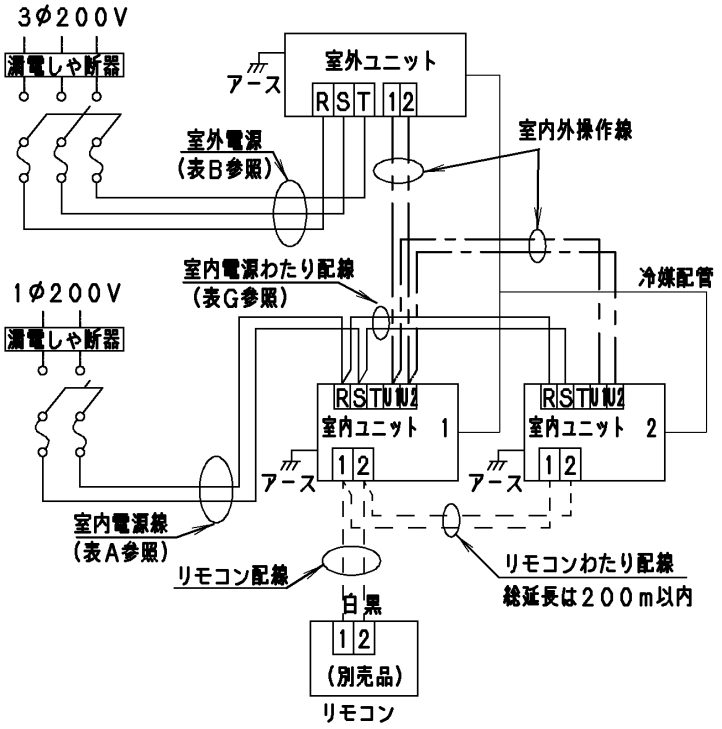


● 電気配線系統図

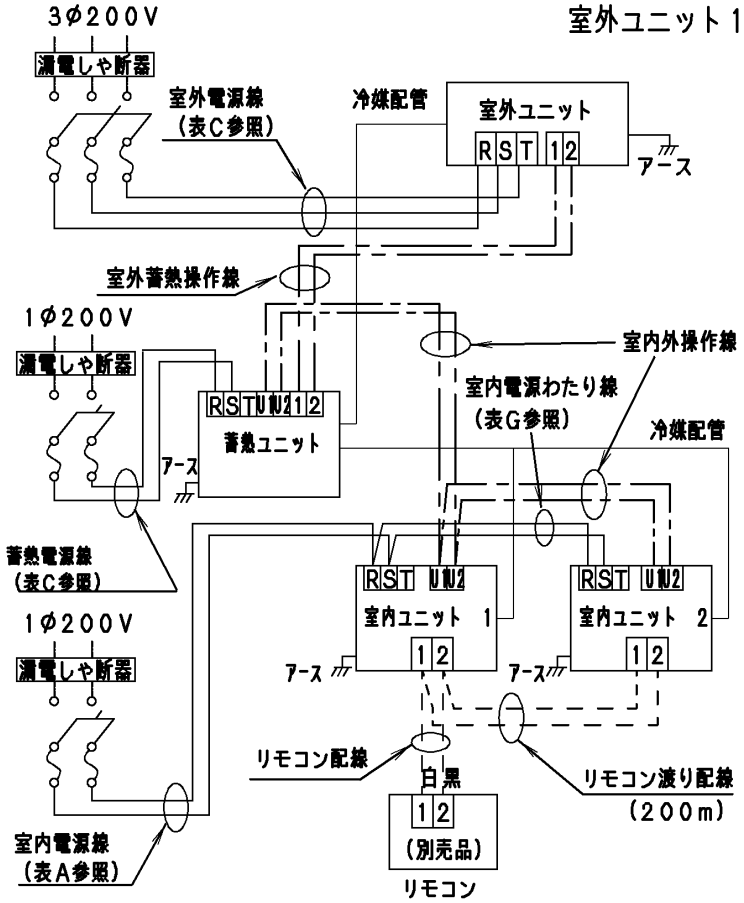
1） ＜基本配線図１＞

個別方式

（ａ）同時運転接続（例：室内ユニット２台、室外ユニット１台）



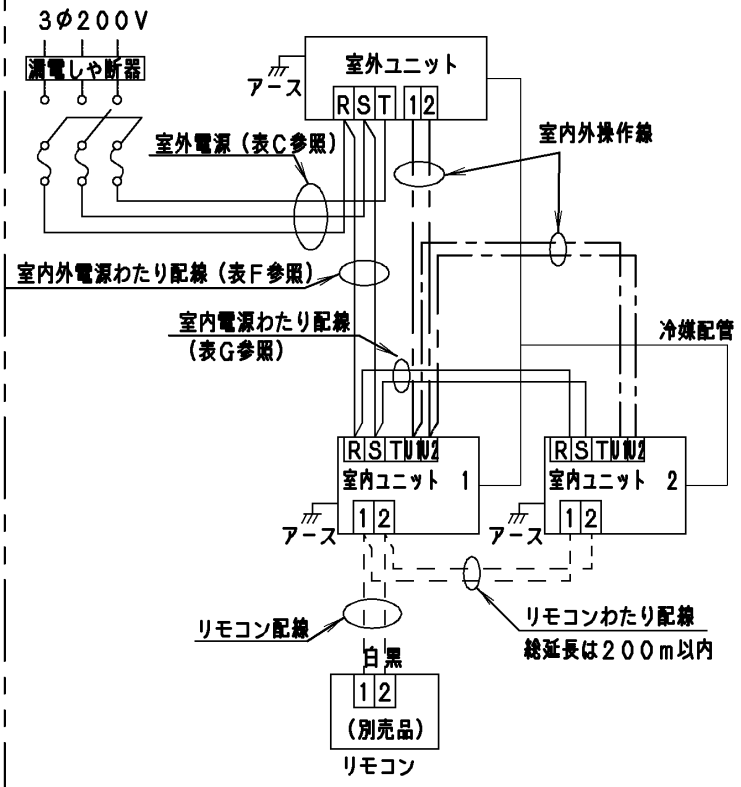
（ｂ）同時運転接続（例：室内ユニット２台、蓄熱ユニット１台、室外ユニット１台）



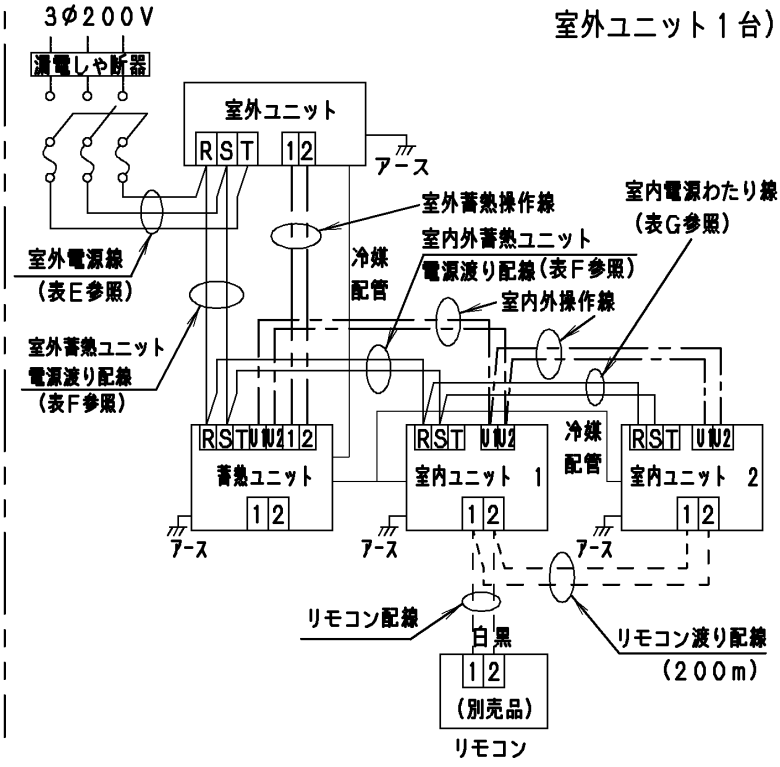
１電源方式

＊電力会社によりできない場合があります。あらかじめご確認ください。

（ａ）同時運転接続（例：室内ユニット２台、室外ユニット１台



（ｂ）同時運転接続（室内ユニット２台、蓄熱ユニット１台、室外ユニット１台）



ご注意

室外ユニット１台に室内ユニット２台を接続してのご使用時は、同時運転のため室内ユニットは同部屋に設置してください。
この制御を行う時は、必ず室内ユニットセンサー（ボデイセンサー）を使用してください。
工場出荷状態で室内ユニットセンサー（ボディセンサー）になっていますので特に変更の操作は必要ありません。

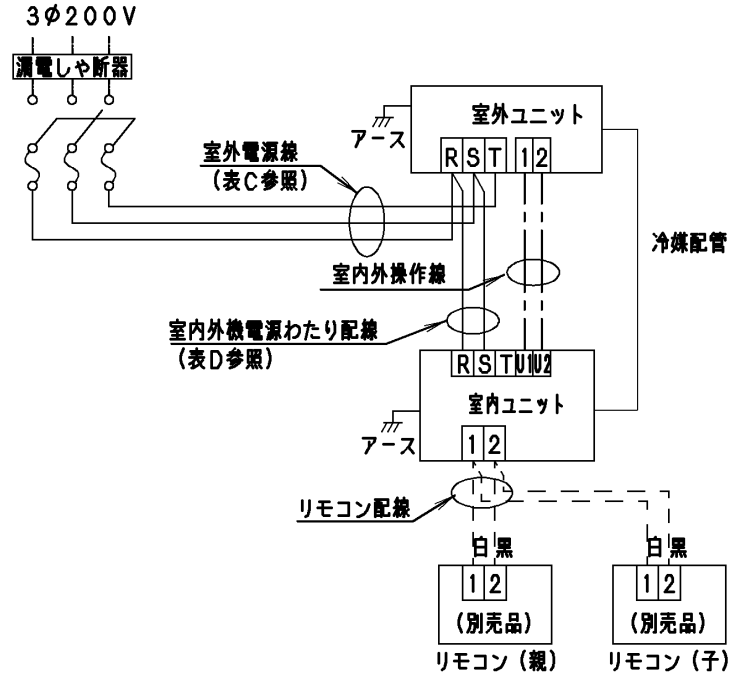
2）　＜基本配線図２＞

親・子リモコン制御：２個の専用リモコンで制御する場合（最多２個まで接続可能です。）

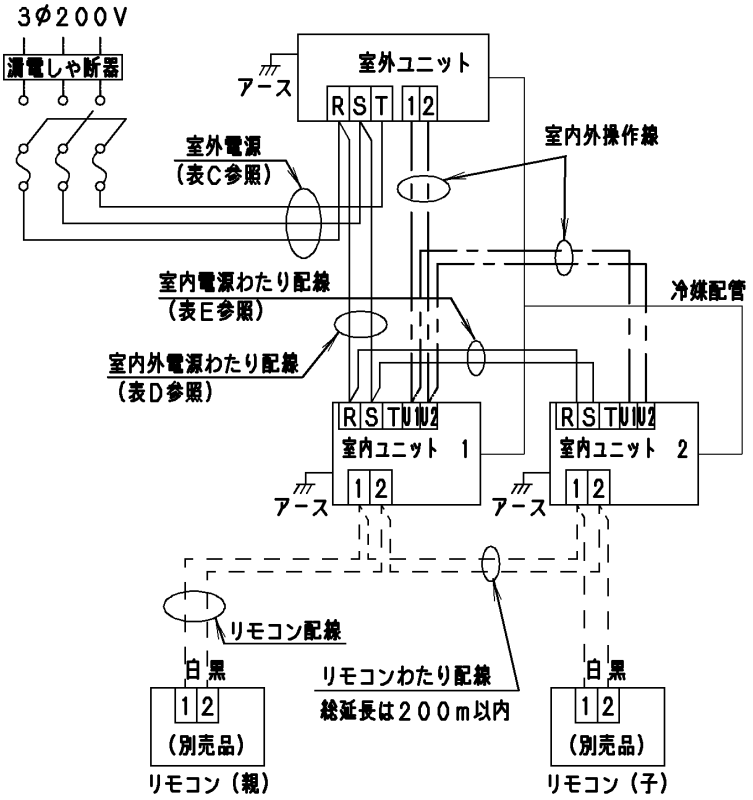
この親・子リモコン制御は、１台もしくは複数台の室内ユニット（最多８台まで）を２個のリモコンで操作できます。

＊リモコンには設定が必要となりますので、下記の＜親・子リモコン設定方法＞をご覧ください。

（１）シングル接続（室内ユニット１台を２個のリモコンで操作する場合）



（２）同時運転接続（例：室内ユニット２台を２個のリモコンで操作する場合）



ご注意
- 室外ユニットから室内ユニットにわたる電源配線は電力会社によりできない場合があります。あらかじめご確認ください。
- 室外ユニット１台に室内ユニットを２台接続してご使用の時は、同時運転のため室内ユニットは同部屋に設置してください。この制御を行う時は、必ず室内ユニットセンサー（ボデイセンサー）を使用してください。工場出荷状態で室内ユニットセンサー（ボディセンサー）になっていますので特に変更の操作は必要ありません。
- 電源配線は、冷媒系統毎に配線接続してください。

（E形リモコンの設定方法）

１．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

２．その他のリモコン（子リモコン）は、セット＋運転切換ボタンを４秒以上押します。

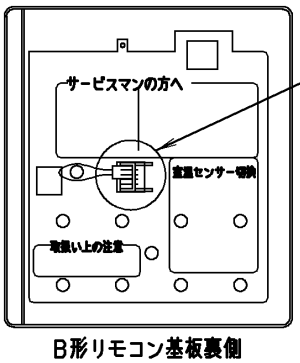
３．温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで項目コード０１を指定します。

４．時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを０００１（親）から０００（子）に変更します。

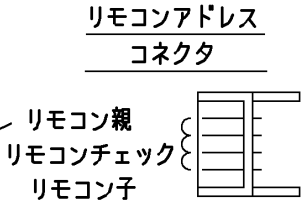
５．セットボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変われば０Ｋ）

６．点検ボタンを押します。

子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。



B形リモコン基板裏側



＊この機能はE形リモコンにはありません。

（B形リモコンの設定方法）

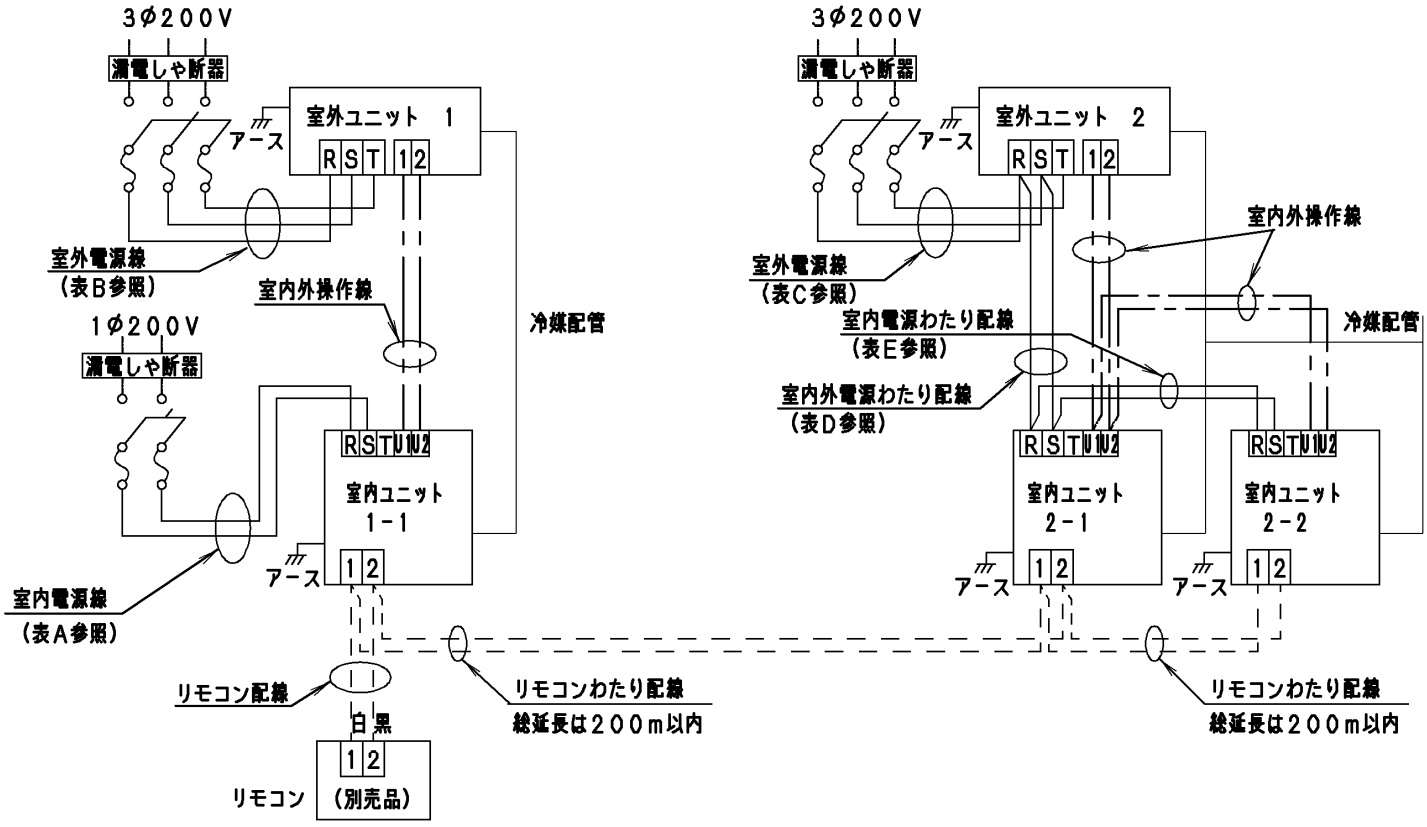
１．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

２．その他のリモコン（子リモコン）は、リモコン基板裏のリモコンアドレスコネクタをリモコン親→子にさしかえてください。この状態で子リモコンとして機能します。

子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

3）　＜基本配線図３＞

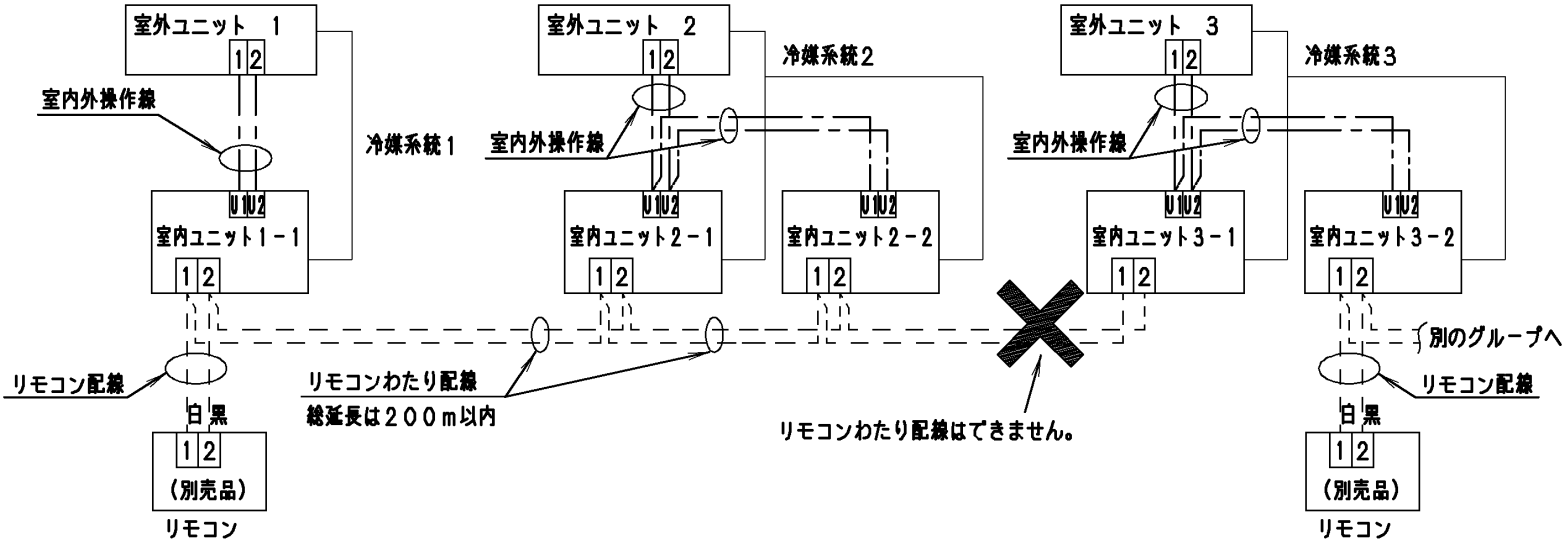
グループ制御：冷媒配管系統をまたがる１個のリモコンで複数台の室内ユニット（最多８台まで）を制御する場合　　（親・子リモコン制御も可能です。）



ご注意

- 室外ユニットから室内ユニットにわたる電源配線は電力会社によりできない場合があります。あらかじめご確認ください。
- 室外ユニット１台に室内ユニットを２台接続してご使用の時は、同時運転のため室内ユニットは同部屋に設置してください。この制御を行う時は、必ず室内ユニットセンサー（ボデイセンサー）を使用してください。

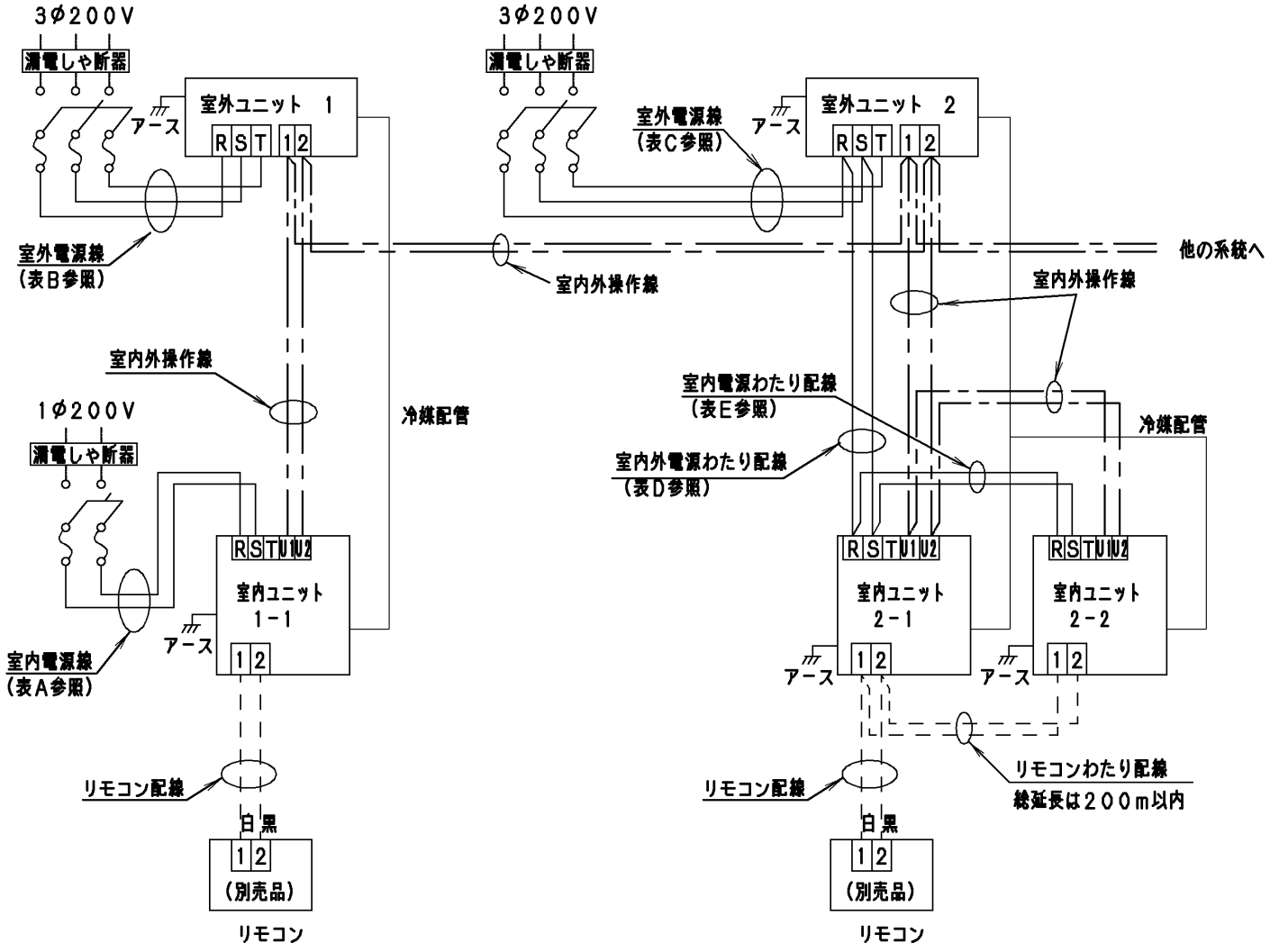
  工場出荷状態で室内ユニットセンサー（ボディセンサー）になっていますので特に変更の操作は必要ありません。
- 室内外操作線・リモコン配線およびリモコンわたり配線には極性はありません。
- 電源配線は、冷媒系統毎に配線接続してください。
- 上図は、室内ユニットはヒーターレス機種の配線例です。
  電気配線は６００Ｖビニール配線、ＩＶ線を使用基準とします。他の例も同一です。
- グループ制御をする場合、１冷媒系統につながっている室内ユニットを別のグループ制御のわたり配線もしくはリモコンで分けて制御する接続はしないでください。（下図の配線図を参照）



４）　＜基本配線図４＞

リンク配線：他系統へ室内外操作線を接続する場合
（他の系統の室内ユニットにわたるグループ制御を行わない場合）

＊このリンク配線はエコアイスｍｉｎｉ同士や他の種類の室外ユニット間に接続することが可能です。
＊１リンクの接続可能機種と台数については１１ページを参照してください。

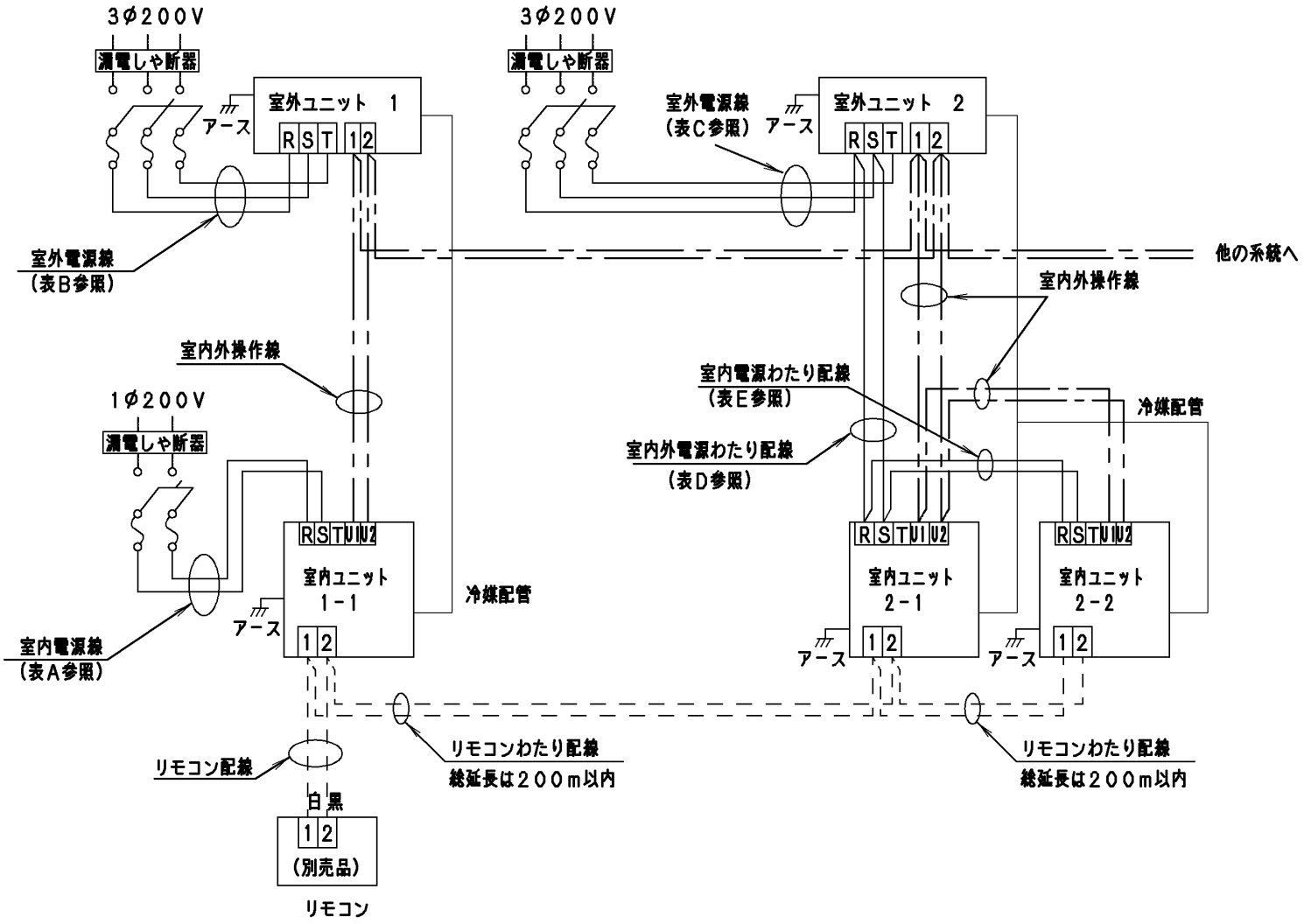


ご注意
- 室外ユニットから室内ユニットにわたる電源配線は電力会社によりできない場合があります。
  あらかじめご確認ください。
- 室内外操作線、リモコン配線、およびリモコンわたり配線には極性はありません。
- 電源配線は、冷媒系統毎に配線接続してください。
- 上図は、室内ユニットはヒーターレス機種の配線例です。
  電気配線は６００Ｖビニール配線、ＩＶ線を使用基準とします。他の例も同一です。

５）＜基本配線図５＞

リンク配線：他系統へ室内外操作線を接続する場合
（他の系統の室内ユニットにわたるグループ制御を伴う場合）

＊１リンクの接続可能機種と台数については１１ページを参照してください。

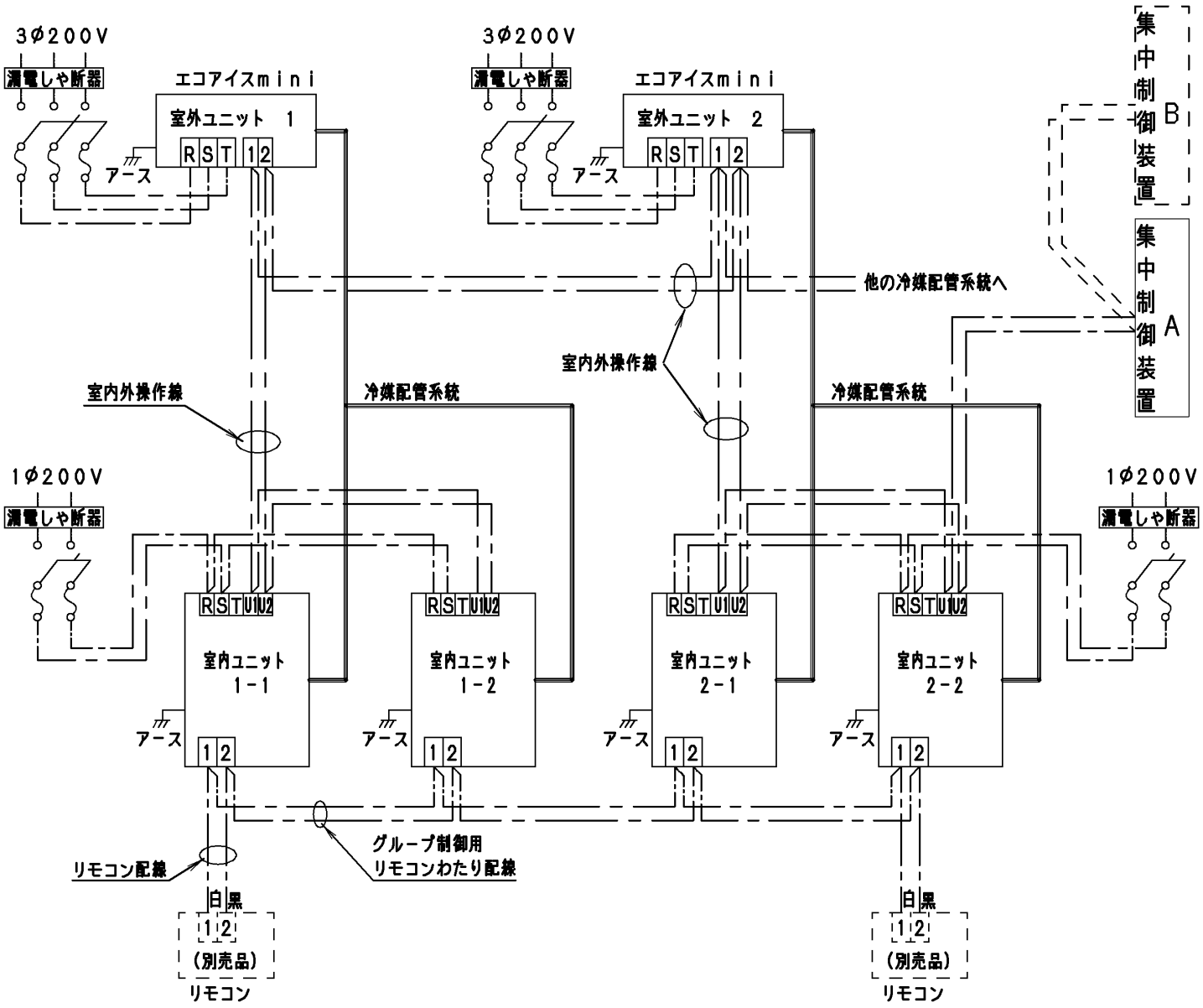


ご注意
- 室外ユニットから室内ユニットにわたる電源配線は電力会社によりできない場合があります。
  あらかじめご確認ください。
- リンク配線の中でグループ制御している室内ユニットをご使用の時は、同時運転のためこれらの室内ユニットは同部屋に設置してください。
  この制御を行う時は、必ず室内ユニットセンサー（ボデイセンサー）を使用してください。　工場出荷状態で室内ユニットセンサー（ボディセンサー）になっていますので特に変更の操作は必要ありません。
- 室内外操作線、リモコン配線、およびリモコンわたり配線には極性はありません。
- 電源配線は、冷媒系統毎に配線接続してください。
- 上図は、室内ユニットはヒーターレス機種の配線例です。
  電気配線は６００Ｖビニール配線、ＩＶ線を使用基準とします。他の例も同一です。

6）＜基本配線図６＞

集中制御：集中制御装置で複数の冷媒系統の室内ユニットを制御する場合

＊１リンクの接続可能機種と台数、集中機器の組み合わせ使用については１１ページを参照してください。



ご注意 ●上図は、室内ユニットはヒーターレス機種の配線例です。
電気配線は６００Ｖビニール配線、ＩＶ線を使用基準とします。他の例も同一です。

7）集中制御（リンクシステム）一覧

●集中制御装置で複数の冷媒系統の室内ユニットを制御する場合

基本配線：① 室内外操作線は、全ての室外ユニット、室内ユニットに渡る。
（室内ユニットは、冷媒系統毎に配線接続し、リンク配線接続は室外ユニット同士で行うことを推奨します。）
② グループ制御は、グループを組む室内ユニットどうしのリモコン渡り配線をする。

●一つの室内外操作線上に（１リンクシステム）接続可能機種と台数

室　外　ユニット	最多３０台	合計１００台以内
室　内　ユニット	最多６４台	
集　中　制　御　機　器	最多１０台	
システムコントローラー	最多　１台 （親・子で使用の場合、親１台・子１台） （ゾーン分けする場合は、４台）	
マルチコントローラーまたは ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー	最多　４台 （親・子で使用の場合、親４台・子４台）	
インテリジェントコントローラー	最多　１台	

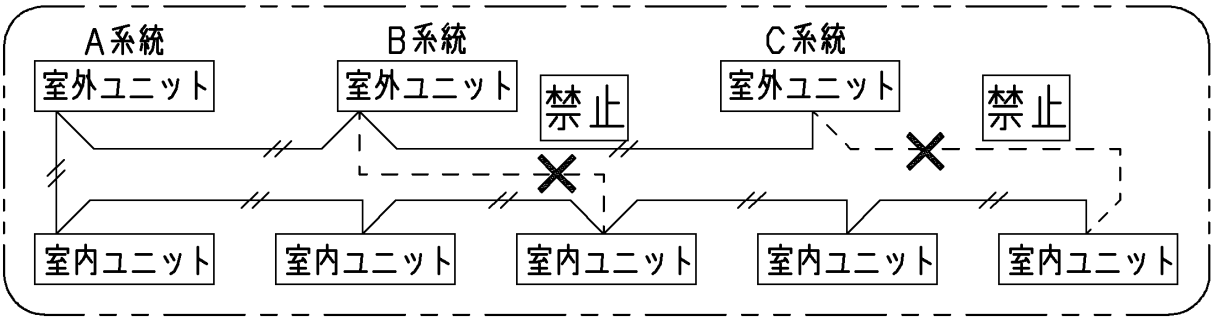
●集中制御機器の組み合わせ使用

	組　み　合　わ　せ　使　用
システムコントローラー ＋ マルチコントローラーまたは ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー	可 （マルチコントローラーの集中制御親子切換を子（ＯＮ）に設定します。）
システムコントローラー ＋ インテリジェントコントローラー	可 （システムコントローラーの集中制御親子切換を子（ＯＮ）に設定します。）
マルチコントローラーまたは ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー ＋ インテリジェントコントローラー	可 （マルチコントローラーまたはＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラーの集中制御親子切換を子（ＯＮ）に設定します。）
マルチコントローラーまたは ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラー ＋ システムコントローラー ＋ インテリジェントコントローラー	可 （マルチコントローラー、ＯＮ／ＯＦＦ集中コントローラーおよびシステムコントローラーの集中制御親子切換を子（ＯＮ）に設定します。）

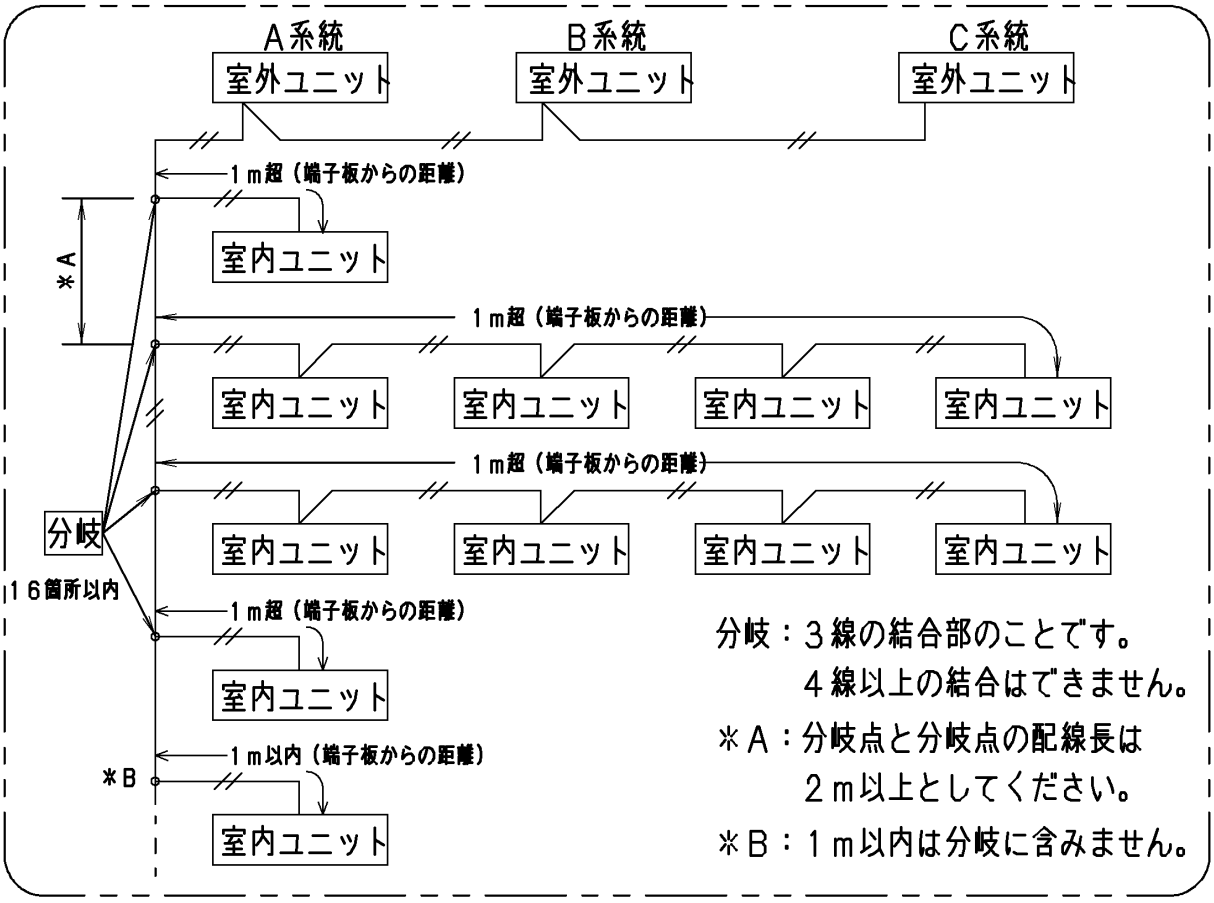
ご注意
- 室外ユニットの電源配線は、各室外ユニット毎に配線接続してください。
- 集中制御装置の信号線は、室内外操作線と同一の通信線になるように配線接続してください。（極性はありません。）
- 室内外操作線はループ状にしますと通信ができなくなりますのでループ状にしないでください。
- 同一通信上（室内外操作線上）の室外ユニットの基板上に取り付けてある、終端プラグの２Ｐ短絡用ソケット（黒）は１台だけを残して他は取り外してください。

●室内外操作線の注意事項

1．ループ状となる配線はしないでください。（通信ができなくなります。）



2．分岐配線する場合は、１６箇所以内としてください。



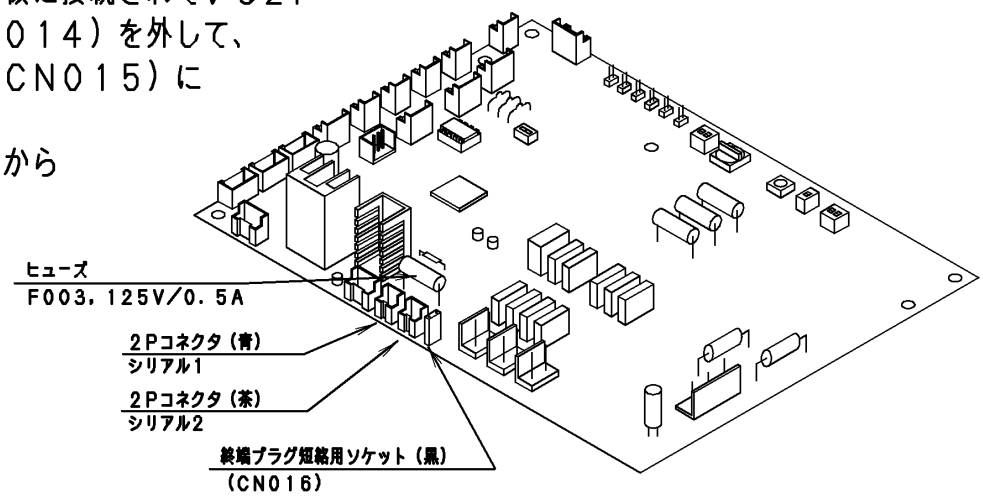
分岐：３線の結合部のことです。
４線以上の結合はできません。

＊Ａ：分岐点と分岐点の配線長は
２ｍ以上としてください。

＊Ｂ：１ｍ以内は分岐に含みません。

3．室内外操作線接続用端子板にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。

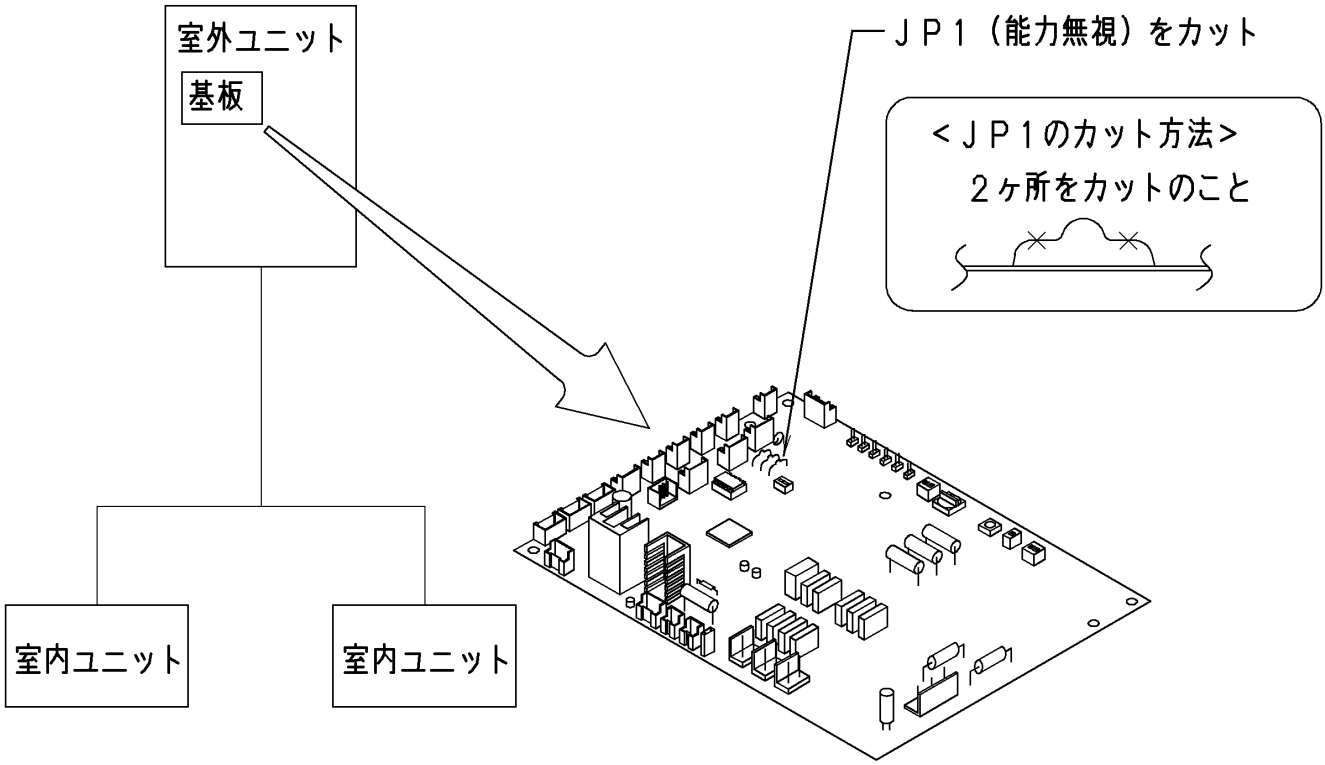
＊誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は、室外基板のヒューズ（Ｆ００３、０．５Ａ）が溶断して基板を保護するようにしています。その場合は、配線接続を正しく修正した後、基板に接続されている２Ｐコネクタ（青、シリアル１、ＣＮ０１４）を外して、２Ｐコネクタ（茶、シリアル２、ＣＮ０１５）に差し換えてください。
（作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）



● 室外ユニットのジャンパー線カットについて

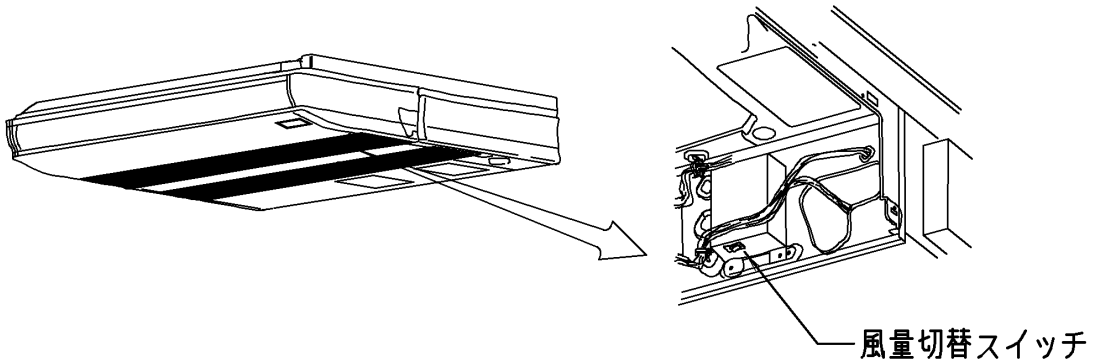
全熱交換器一体型室内ユニット８０形および１１２形をエコミニぐっぴー定速機１４０．１６０形に接続し、ツインとして設置した場合が対象です。

- **室外ユニット１台に室内ユニット２台のツインの設置では、室外ユニットの基板上のジャンパー線ＪＰ１（能力無視）をカットしてください。**
- **ジャンパー線ＪＰ１（能力無視）をカットせずに自動アドレスを開始すると、リモコンに警報『Ｅ１６』が表示され自動アドレスが中断されます。電源をオフにしジャンパー線をカットしてください。**



● 換気風量の切り替えについて

- **換気風量は、強（５００ｍ3／ｈ），弱（３００ｍ3／ｈ）の選択ができます。**
  部屋の要求換気量に応じスイッチで切り替えてください。出荷時は『強』に設定しています。



⚠ 警告

ⓒ 電気工事についてのご注意

- 電気配線は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」およびパッケージエアコンの電源仕様に従ってください。また、事前に各電力会社の指導に従ってください。
- 電源は必ず専用の分岐回路からとってください。
- 電源配線および室内外操作線は、室内・外ユニットに付属している〝コード固定具〟で固定し、冷媒配管やバルブ、圧縮機（特に脚部固定ボルト）などに触れないようにしてください。
- 室外ユニットへの電気配線は〝指定されたパネル〟に正しく配線してください。
  内部に雨水などの入らない構造にしてください。
- 室内ユニットの配線終了後、電源取入口のすきまをパテでシールしてください。
- 配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）
- 電源配線（ＡＣ２００Ｖ等）とリモコン配線および室内外操作線は、同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。
- リモコン配線、リモコンわたり配線および室内外操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。
- 試運転終了後は、ご使用になるまで電源を切ってください。電源が入った状態では自動的に蓄熱運転を行います。
- 室内・外ユニットの電源配線、室内外操作線はテレビ、ラジオ、ステレオ、インターホン、パソコン、ワープロ、電話などの本体、および、アンテナ線や信号線、電源コードなどから３ｍ以上離してください。ノイズで影響を受ける場合があります。

3.リモコン（別売品）の取り付けかた

- 別売のリモコンに付属しています説明書を参照してください。
- リモコン配線およびリモコンわたり配線は、確実に室内ユニットのリモコン配線用端子と接続してください。
  リモコン配線とリモコンわたり配線の総延長は、５００ｍまで出来ます。
  ただし、リモコンわたり配線の総延長は、最大２００ｍ以内です。
- リモコン、リモコン配線およびリモコンわたり配線は、ノイズを受けないよう設置してください。

⚠ 注意

4.漏電しゃ断器は必ず取り付けてください

取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

5.アース工事は必ずおこなってください

アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

- アース端子は電装ボックス内部にあります。接地工事はＤ種接地工事（旧第三種接地工事）です。
- 静電気による帯電およびノイズを吸収するため据え付けの際は、必ずアース工事を行なってください。